

## 平成26年度における県の主な取組

- 野菜で健康大作戦事業
- 子ども健康促進事業について
- さあ始めよう！あおもり「健活」推進事業

# 野菜で健康大作戦事業費（10,000千円）

【平成26年度～平成27年度】

## 現状と課題

- ・食料自給率112%(H23概算値)
- ・豊富な農林水産物や多様な食文化などを活かしてライフステージに応じた望ましい食習慣の実践を推進（第2次青森県食育推進計画）

＜一方で＞

- ・野菜の摂取不足、食生活の洋風化などによる栄養バランスの偏りが、**全国一短命県である要因のひとつ**

○全国一の長寿県(長野県)との比較(H22)

指標	青森県(順位)	長野県(順位)
平均寿命	男77.3歳 (47位) 女85.3歳 (47位)	男80.9歳 (1位) 女87.2歳 (1位)
食塩摂取量(成人)	男13.0g (2位) 女10.9g (5位)	男12.5g (6位) 女10.7g (8位)
野菜摂取量(成人)	男292g (31位) 女275g (29位)	男379g (1位) 女353g (1位)
肥満者の割合(20～69歳男)	38.0% (9位)	25.7% (40位)

- ① 野菜摂取に対する県民の意識改革
- ② 栄養バランスの良い日本型食生活への見直し



## 事業内容

### 1 野菜を食べよう大作戦の展開 (7,891千円)

野菜摂取量アップによる家庭での健康増進を図る。

#### (1) 野菜を食べよう協力店づくり

- ・野菜の基礎知識研修会の開催
- ・野菜を食べよう協力店の登録

育成

連携

協力店  
(スーパー、産直等)

野菜摂取アップに向けた大作戦を販売を通じて展開

#### (2) 野菜を食べようキャンペーンの実施

- ・協力店との協働による一斉キャンペーンの実施
- ・食育・地産地消関連イベント等での啓発
- ・野菜摂取量アップ実践体験の情報発信

連携

連携

- ・市町村
- ・食品製造業者
- ・JA全農、中央会
- ・青果卸売市場
- ・野菜ソムリエ協会
- ・食育サポーター
- ・食生活改善推進員など

#### (3) 野菜を食べよう推進大会の実施

- ・野菜摂取量アップのための講演
- ・野菜を食べよう優良店の事例発表
- ・きれいな野菜克服体験談の紹介

### 2 野菜で元気になれる地域の食啓発 (2,109千円)

野菜を使った本県の伝統的な「食」の中で、健康長寿につながるヒントを見出し、これを食べて元気である高齢者の事例を通じてバランスの良い日本型食生活への改善を図る。

#### (1) 元気な高齢者の食べている野菜豊富な食事大調査 (1年目)

#### (2) 元気な高齢者が勧める日本型食生活の啓発 (2年目)

＜部局間連携＞

## 事業効果

栄養バランスのとれた食生活

- ① 野菜の摂取量の増加(目標350g以上)
- ② 野菜の豊富な地域の食を活かした日本型食生活の実践



・第2次青森県食育推進計画の目標  
「健康で活気に満ちた『くらし』の実現」の達成

- ・食生活の改善による平均寿命の延伸



# 野菜を食べよう大作戦実施イメージ



## 県

- ・野菜の基礎知識研修の実施
  - ・啓発グッズ、資料、野菜350g摂取情報等の提供
  - ・きれいな野菜克服体験募集と発信
  - ・野菜を食べよう啓発指導者育成研修の実施(きれいな野菜克服指導研修、野菜350g摂取指導研修)
  - ・推進大会の開催
  - ・元気な高齢者の食べている野菜豊富な食事大調査の実施
- など

連携



### 関係機関・団体

- ・JA全農あおもり
- ・農協中央会
- ・青果卸売市場
- ・市町村
- ・食品製造業者
- ・野菜ソムリエ協会 等



- ①協力店が実施するキャンペーン等への協力、啓発グッズ等の提供
- ②野菜を食べようキャンペーンと連携したイベント等の実施

連携



研修実施、啓発資料提供、等



### 協力店(スーパー、直売施設等の販売事業者)

- ①野菜摂取啓発の知識を持つ人の育成
- ②野菜を食べよう協力店への登録
- ③野菜を食べようキャンペーン等での野菜摂取啓発



野菜摂取啓発や食べ方の提案

指導・連携



研修実施、啓発資料提供、等



### 地域の食育指導者

- ・県栄養士会
- ・あおもり食育サポーター
- ・食生活改善推進員
- ・生活研究グループ 等

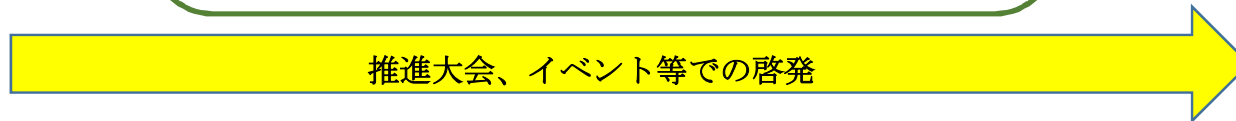


- ①野菜を食べよう啓発指導者育成研修参加
- ②協力店への指導、イベント等での啓発活動の協力・連携
- ③きれいな野菜克服体験募集への応募(学校関係を通して募集)
- ④元気な高齢者の食べている野菜豊富な食事大調査への協力

啓発



推進大会、イベント等での啓発



## 青森県民

野菜の  
摂取量  
アップ





# さあ始めよう！あおもり「健活」推進事業

(29,062千円)

H26戦略プロジェクト ～健康長寿県プロジェクト～

## 【現状・課題】

### 《現状》

- 1.がん、心疾患、脳血管疾患の死亡率が40～50歳代から全国との差が顕著になっている。
- 2.特定健診の受診率は全国平均よりも低く、がん検診の受診率も伸び悩んでいる。
- 3.糖尿病の年齢調整死亡率が全国に比べ高い、特に男性は下位クラス。

### 《課題》

- 1.生活習慣の改善や健（検）診の受診率の向上のために、若い年代から県民が「健やか力」を身に付け、向上させることが必要。
- 2.「健活」を推進するには、市町村や地域・職域の関係機関との連携が必要不可欠。
- 3.様々な合併症を併発する糖尿病患者の重症化を予防するため、継続した取組が必要。

## 【事業内容】

### 1 「健やか力」向上推進事業（10,064千円）

- ①「健やか力」パワーアップ事業
  - ・「健やか力」を普及啓発するための健康教育サポーターの育成強化
  - ・「健やか力」の普及啓発（県民向け）
- ②あおもり「健やか力」検定事業
 

県民が自身の健康に関心を持ち、意欲的に健康について学び実践してもらうため、「健やか力」検定を実施（小5、中2、一般）

### 2 市町村等「健活」推進支援事業（2,769千円）

- ① 市町村等「健活」推進トップセミナーの開催
- ② 市町村等「健活」推進のための地域診断
- ③ あおもり「健活」推進研究会の開催

### 3 健診及びがん検診受診率向上・糖尿病対策推進事業（16,229千円）

- ①働く世代の健（検）診受診率向上対策事業
  - ・健（検）診の受診環境整備のため、新聞連載により広報する
  - ・事業所に対する健（検）診実態調査
  - ・市町村健（検）診担当者研修会の開催
- ②糖尿病対策推進事業
  - ・研修会の開催、システム構築の検討
  - ・在宅管理栄養士紹介システムの拡大・周知

## 【事業成果】



- 1 「健やか力」の向上
- 2 人財の育成
- 3 健（検）診受診率の向上
- 4 糖尿病に係る療養体制の全県的な普及

**早世の減少と  
健康寿命の延伸**

今を変えれば！未来は変わる！！

# 子ども健康促進事業

22,597千円

## 【現状と課題】

### これまでの県教育委員会の取組

「未来を担う子ども健康生活推進事業」

「あすなろっ子健康生活改善大作戦事業」

「いきいき青森っ子健康づくり事業」

- ・食育は普及浸透してきているが、肥満傾向児の出現率は依然として全年齢層において全国平均を上回っている状況が続いている。
- ・新体力テストにおける合計点は全国平均を上回る年齢層が増えてはきているものの、生活の中で体を動かす機会の減少等により、積極的に運動する子とそうでない子の二極化が進んでいる。

### 児童生徒の健康意識及び実践力の向上

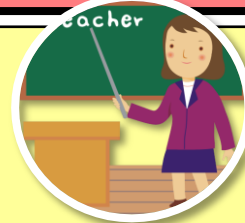
- ・教師や保護者等が一体となった取組の推進
- ・自ら進んで運動できる環境づくり
- ・発達の段階を踏まえた指導法の充実
- ・食育をとおした健康づくりの推進

## 子ども・教師・保護者



### 1 青森っ子健康ランウォーク推進事業 4,443千円

- ・全学校でマラソン(ウォーキング可)を推進【小学校対象】
- ・全クラスで目標値を達成した学校に賞状と奨励賞を贈呈
- ・普及拡大のため、あおもりアスリートネットワーク会員や知事等県幹部職員による県内キャラバンを実施
- ・新体力テストを悉皆で実施し、その結果に基づき、体力づくり活動(体力コンテストを活用)を推進【小・中・高等学校対象】



### 2 体育・健康リーダー育成事業 952千円

- ・体力向上と健康教育に関する指導法講習会の開催【小・中教員対象】(6教育事務所での開催)(2年間で全小・中学校)



### 3 あおもり型給食普及事業 5,014千円

- ・あおもり型給食の開発(減塩、野菜摂取等メニュー)
- ・栄養教諭等への研修会・講習会の開催(県栄養士会との連携)
- ・普及用映像資料の作成(県HPで映像による周知、各学校へDVDを配布等)

### 4 青森っ子健康サポート事業 10,006千円

- ・東通村をモデル地域に、外部関係者と連携し、個別栄養指導を実施



### 5 地域で進めるすくすく青森っ子育成事業 2,182千円

※生涯学習課

- ・子ども教室等への講師(遊びのマスター)を派遣
- ・食卓を担う祖父母世代を含む保護者を対象としたヘルスアップセミナーを開催
- ・自然の家において運動・食事等に関する親子健康キャンプを実施

## 体力、健康生活に対する意識及び実践力の向上

## 肥満傾向児出現率の低下

## 青森県の健康課題解決

全県民

さあ始めよう！あおもり「健活」推進事業(健康福祉部)

- ・「健やか力」の普及啓発
- ・「健やか力」検定の実施
- ・「健活」の推進
- ・働く世代の健診受診率向上対策
- ・糖尿病対策 等

連携

# 子ども健康促進事業

22,597千円

## 【現状と課題】

### これまでの県教育委員会の取組

- 「未来を担う子ども健康生活推進事業」
- 「あすなろっ子健康生活改善大作戦事業」
- 「いきいき青森っ子健康づくり事業」



- ・食育は普及浸透してきているが、肥満傾向児の出現率は依然として全年齢層において全国平均を上回っている状況が続いている。
- ・新体力テストにおける合計点は全国平均を上回る年齢層が増えてはきているものの、生活の中で体を動かす機会の減少等により、積極的に運動する子とそうでない子の二極化が進んでいる。

### 児童生徒の健康意識及び実践力の向上

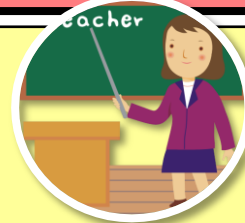
- ・教師や保護者等が一体となった取組の推進
- ・自ら進んで運動できる環境づくり
- ・発達の段階を踏まえた指導法の充実
- ・食育をとおした健康づくりの推進

## 子ども・教師・保護者



### 1 青森っ子健康ランウォーク推進事業 4,443千円

- ・全学校でマラソン(ウォーキング可)を推進【小学校対象】
- ・全クラスで目標値を達成した学校に賞状と奨励賞を贈呈
- ・普及拡大のため、あおもりアスリートネットワーク会員や知事等県幹部職員による県内キャラバンを実施
- ・新体力テストを悉皆で実施し、その結果に基づき、体力づくり活動(体力コンテストを活用)を推進【小・中・高等学校対象】



### 2 体育・健康リーダー育成事業 952千円

- ・体力向上と健康教育に関する指導法講習会の開催【小・中教員対象】(6教育事務所での開催)(2年間で全小・中学校)



### 3 あおもり型給食普及事業 5,014千円

- ・あおもり型給食の開発(減塩、野菜摂取等メニュー)
- ・栄養教諭等への研修会・講習会の開催(県栄養士会との連携)
- ・普及用映像資料の作成(県HPで映像による周知、各学校へDVDを配布等)

### 4 青森っ子健康サポート事業 10,006千円

- ・東通村をモデル地域に、外部関係者と連携し、個別栄養指導を実施



### 5 地域で進めるすくすく青森っ子育成事業 2,182千円

※生涯学習課

- ・子ども教室等への講師(遊びのマスター)を派遣
- ・食卓を担う祖父母世代を含む保護者を対象としたヘルスアップセミナーを開催
- ・自然の家において運動・食事等に関する親子健康キャンプを実施

## 体力、健康生活に対する意識及び実践力の向上

## 肥満傾向児出現率の低下

## 青森県の健康課題解決

連携

全県民

さあ始めよう！あおもり「健活」推進事業（健康福祉部）

- ・「健やか力」の普及啓発
- ・「健やか力」検定の実施
- ・「健活」の推進
- ・働く世代の健診受診率向上対策
- ・糖尿病対策 等